



大産建第29号
平成19年5月9日

国土交通省道路局長 様

大鹿村長 中川



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

このことについて、別紙のとおり提出いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見

大 鹿 村

(1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

少子高齢化・人口減少により地方が深刻な状況にある中で、地域の自立と競争力を強化するための幹線道路の計画的な整備が緊急かつ優先度の高い政策である。

また、都市に集中する既存ストックの長寿命化への取組を積極的に実施することにより、整備の遅れている地方幹線道路の整備に重点的に取り組むことが必要である。

当飯田国道事務所管内においては、主要事業として位置づけられている三遠南信自動車道の整備に伴い、太平洋側と日本海側を最短で結ぶ国道152号の整備は、地域の連携と交流基盤の整備、基幹道路網の整備による渋滞の緩和や物流ネットワーク構築など特に重要と考える。しかし、矢筈インターから伊那市長谷間は幅員狭小と中央構造線の脆弱な地質、交通不能区間解消の困難性により工事の大規模化が予想されることから、長野県と国が連携してネットワークを構築するための計画樹立が必要である。また、大鹿村は国道152号が冬期間通行止めとなるため、村外へ通じる道路が1路線のみで災害時は全村孤立する恐れがある。

(2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

(3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

道路整備は国土の均衡ある発展と地域振興、さらに住民生活を支える基盤として不可欠なものである。

しかしながら、その中心となる国道の整備状況を見ても、当地域においては他地域に比べ大きく立ち遅れている現状であります。特に国道152号はすれ違い困難な区間がほとんどの上、冬期閉鎖区間をはじめ交通不能区間すら存在しております。

こうしたことがあらゆる産業の振興等地域振興施策の推進や通勤、通学、通院、買物といった日常生活に大きな制約を受けている状況であります。また、国道は大規模災害発生時には緊急輸送路となっており、防災上からも一層の整備が必要となっております。

今後地域が豊かで潤い、さらに安全・安心した生活が営まれるため、道路整備の促進が早急に図られるよう切に願います。